

学校の概要

(1) 地域の歴史

この地域がいつごろからどのように開けたかは伝承の史実がないが、町内各地から縄文式・弥生式土器が発掘されているところから推定して先住民は山麓の平地に移り住み、その後、小河川の治水が定まり、村落が形成されたと考えられる。昭和30年7月1日に鳳来村、菅原村の全部と駒城村の一部（横手・大坊）及びびいたん長坂町になった花水が分町合併して白州町が誕生した。尾白川、濁川（今の神宮川）から流出した真白き砂が、釜無川との間に大きな洲をなしていることが町名の由来である。平成16年11月1日、周辺6町村と合併して北杜市白州町となった。

(2) 地域の自然環境

白州町は東京都甲府から北西に約30Km、長野県との県境に位置する。西里部は甲斐岳を主峰とする山岳地帯、東端は八ヶ岳火砕流による七里ヶ岩の崖がさき、この崖壁に沿って釜無川が流れている。赤石山系に源を発する流川、神宮川、尾白川、大武川等の大小河川が西から東に流れ、町を分断しながら流域に起伏の激しい扇状の傾斜地を形成している。そのため平坦部がわずかしかなく、冬の寒さも厳しく、生活は常に厳しい自然と隣合わせである。景観は、南アルプスを背景にすばらしい。山岳と溪谷の美色鮮やかな四季の変化に富む町である。主産業である農業は、米を中心に果樹、野菜の栽培などが盛んである。

(2) 学校の歴史

- 昭和29年度 菅原村・鳳来村・駒城村・3ヶ村中学校組合立白洲中学校を設置 校章バッチ制定
- 昭和30年度 7月1日町制施行により、白州町立白州中学校と校名変更 7月1日を創立記念日とする
- 昭和32年度 屋内体育館落成式挙行 校旗制定 吹奏楽部設置
- 昭和39年度 バレー部県大会3連覇
- 昭和41年度 町営プールとしてプールが完成
- 昭和43年度 特殊学級開設 研究実践が認められ、学研賞を受賞
- 昭和44年度 バレー部関東大会 全国大会出場 野球部県大会優勝 吹奏楽部関東大会出場
- 昭和46年度 県中学校選抜野球大会優勝
- 昭和48年度 連合警備に委託し、無人化になる
- 昭和50年度 第1回学園祭を実施
- 昭和53年度 新校舎完成
- 昭和57年度 給食棟完成
- 昭和59年度 創立30周年記念式典実施
- 昭和61年度 バレー部県大会優勝 関東大会出場
- 昭和62年度 吹奏楽部関東大会出場
- 平成元年度 第1回PTA親子早朝愛校作業実施
- 平成4年度 学校週5日制調査研究協力校に指定
- 平成5年度 卓球部県大会優勝 関東大会出場
- 平成6年度 卓球部県大会優勝 全国大会出場
- 平成7年度 白州町海外派遣事業開始
- 平成8年度 ティーム・ティーチングの研究校に指定
- 平成9年度 北巨摩学校保健会推進校に指定
- 平成10年度 学校保健推進優良校として表彰される 卓球部、陸上部関東大会出場
- 平成12年度 卓球部が総体、新人戦で優勝し功労賞受賞
- 平成13年度 校舎本館耐震大規模改修実施
- 平成15年度 地域ふれあい道徳教育推進校に指定
- 平成16年度 創立50周年記念事業を行い、記念誌を発行 北杜市立白州中学校と校名を変更
- 平成17年度 ボランティア活動普及協力校3年間指定
- 平成19年度 相撲部全国大会出場(18年度関東大会出場)
- 平成20年度 前年に引き続きキャリア教育推進校に指定
- 平成21年度 学校体育研究推進校に指定(前年度から)
- 平成22年度 太陽光発電設備の設置 口腔衛生優良推進校受賞 卓球・相撲部関東出場、相撲は全国出場
- 平成23年度 東日本大震災を期に防災マニュアルの見直し 卓球部が関東選抜大会に出場
- 平成24年度 北杜市給食センターの給食を開始 卓球部が2年連続関東大会に出場
- 平成25年度 卓球部が3年連続関東選抜大会に出場
- 平成26年度 開校60周年式典及び文化庁公演事業「ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団」の公演を実施 卓球部関東大会出場
- 平成27年度 文部科学省より「実践的防災教育推進事業」「レクで学校丸ごと元気づけアップ事業」の指定を受ける。地震速報システム導入。2年連続文化庁公演事業「ハロー天使です！」ミュージカルを公演。卓球部県新人大会優勝し、関東選抜・全国選抜大会に出場。体育館床改装工事実施。

